ニュージーランド準備銀行の金融政策と経済見通し

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は8月10日の政策決定理事会で、政策金利を1.75%で据え置く決定を下す。
- 4-6月期のインフレ率は前年比+1.7%へ鈍化。石油・食品価格上昇の反動から、RBNZは今後のインフレ低下を予想。
- RBNZは一部の先進国中銀の利上げや金融緩和縮小には追随せず、緩和的な金融政策が適切との考えを示す。
- 低金利や人口増加、交易条件改善、財政刺激策などに支えられ、経済成長率は2018年に3%超の水準に上昇へ。

RBNZは予想通り、政策金利の据え置きを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は8月10日の政策決定理事会において、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置く決定を下しました(図1)。

RBNZは今後のインフレ率の低下を予想

ニュージーランドの2017年4-6月の消費者物価指数(CPI)は前年比+1.7%と1-3月期の同+2.2%から鈍化しました。今回の理事会と同時に公表された四半期金融政策報告(MPC)のインフレ見通しによれば、2017年前半にかけての石油・食品価格の上昇の反動から、今後のインフレ率の低下が予想されています。2018年初には一時的にインフレ・ターゲットの下限を下回った後、インフレ率は2019年にかけてインフレ・ターゲットの中心である2%への収れんが見込まれています。

RBNZは緩和的な金融政策が適切との考え示す

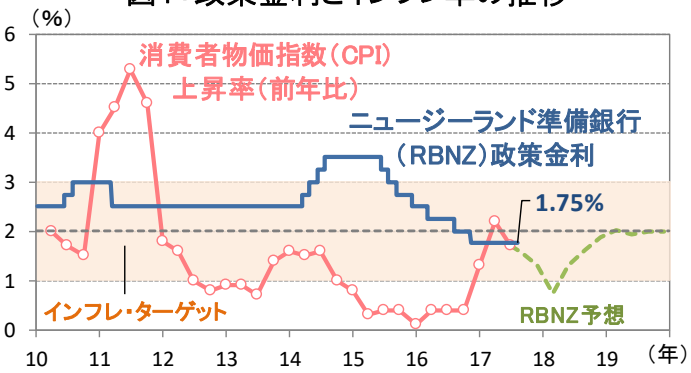
また、今回のMPCでは、一部の先進国中銀が利上げを開始したり、金融緩和の緩やかな縮小を検討し始める中でも、ニュージーランドでは引き続き緩和的な金融政策が適切との考えが示されました。

RBNZによればニュージーランドの中立的政策金利は足元で3.5%と推定されており、現行の政策金利(1.75%)はなお緩和的であることが示唆されています(図2)。RBNZはMPCの中で、「国内でのインフレ圧力が後退する中、政策金利は長期にわたって低水準で推移すると予想される」と述べ、利上げを急がない考えを表明しています。

RBNZは2018年にかけ経済成長率の上昇を予想

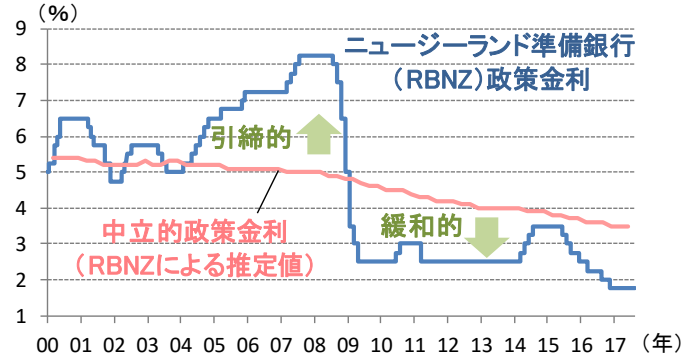
景気見通しに関しては、2017年1-3月の実質GDPは前年比+2.5%へ鈍化したものの、RBNZでは低金利や人口増加、交易条件の改善、財政刺激策などに支えられ、2018年にかけて成長率が3%超の水準へ上昇するとの予想を示しています(図3)。

図1:政策金利とインフレ率の推移



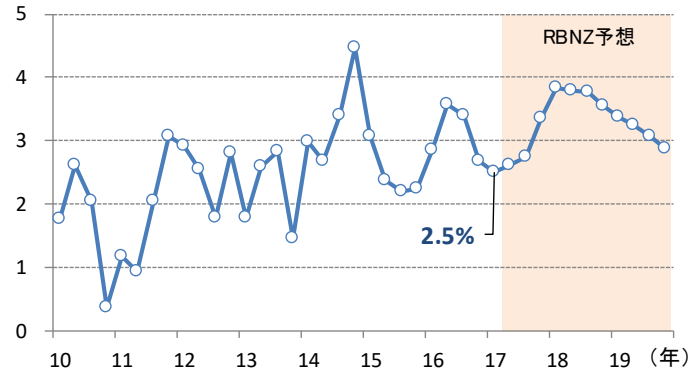
(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局
(期間)政策金利:2010年1月1日～2017年8月10日
CPI:2010年1-3月～2017年4-6月(実績)

図2:ニュージーランドの中立的政策金利



(出所)RBNZ (期間)2000年1月1日～2017年8月10日

図3:ニュージーランドの実質GDP成長率



(出所)RBNZ (期間)2010年1-3月～2017年1-3月(実績)

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。